

知事コメント

令和5年1月12日(木)

本日(1/12)沖縄県の新規陽性者数は1,594名となっており、1週間合計の前週比は1.4まで上昇するなど、連休の影響により感染拡大の勢いが強まっている可能性があります。

入院者数は298名と増加傾向にあるほか、重点医療機関の休業者数が450名以上となり、医療機関の負担感は増していますが、病床使用率は1月12日時点で44.2%となっており、さらに警戒レベル3の目安である50%に迫っています。

そのような中で、沖縄県内では、インフルエンザとコロナの同時流行が始まっており、最新のインフルエンザ定点当たりの報告数が前回の約2倍にあたる17.77人となり、本日、3年ぶりにインフルエンザ注意報が発令されたところであります。インフルエンザは例年、1から2月に流行のピークを迎えることから、今後、さらなる感染の拡大が懸念されます。

本日開催されました、新型コロナウイルス対策本部会議においては、病床使用率等の判断指標の数値が引き続き、レベル2相当であることから、現在の対処方針の期限を2月12日まで延長し、感染対策の呼びかけを継続することとしました。

一方、新規陽性者数が増加しているほか、コロナとインフルが同時流行していることを考慮し、発熱外来の確保に取り組むこととしたので、お知らせします。

まず、県民の皆さまにおかれましては、新型コロナとインフルエンザ両方のワクチン接種をお願いします。新型コロナワクチン接種を最新の状態にすることで、重症化予防効果が期待され、特に、オミクロン株対応ワクチンは、従来型ワクチンを上回る効果が期待されます。

オミクロン株対応ワクチンの接種率につきましては、1月10日時点において、12歳以上の全人口25.2%となっております。県としましても、ワクチン接種の促進に向け、出向き接種や県民への周知に積極的に取り

組んでいるところです。接種主体である市町村におかれましては、希望する方が接種できるよう、引き続き、体制整備をお願いいたします。

また、季節性インフルエンザが流行していますので、早めにインフルエンザのワクチン接種をご検討ください。

軽症の方は、できるだけ、検査キットによる自己検査で自宅療養するようお願いします。高齢者や妊婦、透析患者のほか、症状がつらく受診を希望する方は発熱外来、かかりつけ医を受診して下さい。

県内では、特に本島中南部圏域において、救急外来の受診者が増加傾向にあることから、軽症の場合や検査目的での救急病院の受診は控えるなど、適正な救急受診にご理解とご協力をお願いします。

療養期間中は人との接触は控えましょう。新型コロナの場合、原則7日間の療養が必要です。また、インフルエンザは、発症前日から発症後3日から7日までは鼻やのどからウイルスを排出する可能性がありますので、感染を広げないため、自宅で安静にするなど、周りの方への配慮をお願いします。

コロナとインフルの同時流行により、医療機関の負担が高まっていることから、県では、日曜、祝日における夜間の検査対応として、沖縄県医師会の協力の下、南風原町に「沖縄県小児等発熱軽症者抗原検査センター」を設置します。設置日時は毎月15日、22日、29日の各日曜日、17時から20時までとなっております。

対象者は、37.5℃以上の発熱がある軽症者のうち、新型コロナ及びインフルエンザの検査を求める中学生以下の小児となっており、同行されるご家族も症状があれば利用可能です。

受検者には、新型コロナ及びインフルエンザ同時検出キットを配布し、現場の医師が、検査結果や症状に応じて対応します。

県の発熱コールセンターに受診先を相談した方へ検査センターを紹介することとしており、1日の対応可能人数は約100人となっています。

こうした取り組みの他、県では、日曜日や祝日に診療に協力いただける発熱外来医療機関に対して、協力金を支給することにより、外来医療体制の確保に取り組んでおります。1月8日、9日には両日とも5箇所の医療機関にご協力いただき、それぞれ140人から170人の患者を受診していただいています。

なお、今週の日曜日(15日)に協力いただける医療機関については、現在集計中であり、明日(13日)、沖縄県ホームページに掲載しますので、事前に電話予約の上、ご利用ください。

繰り返すとなりますが、県内では、新型コロナとインフルエンザが同時流行しております。今後、感染対策が不十分なまま、新年会等の会食や世代間交流等が繰り返され、感染が拡大した場合、要請内容の強化を検討することとなります。

そうした事態を避け、社会経済活動を継続しながら医療を守るためにも、引き続き、日頃から3密を回避し、換気や適切なマスクの着脱、手指消毒の徹底、毎日の健康観察を習慣化する等、これまで身につけた感染対策を徹底しましょう。

また、新型コロナやインフルエンザにうつらない、うつさない意識を心がけるとともに、少しでも症状がある場合、通勤、通学、外出、会食は控え、風邪症状を認める際、1週間程度は重症化リスクの高い高齢者、妊婦等には会わないようにするとともに、ワクチン接種を完了させる等、お一人おひとりが実践できる対策に取り組み、感染拡大を防ぎましょう。